

参考資料(3)

校名	就職支援・キャリア形成支援に関する特色ある取り組み、強化・充実している取り組み、工夫点等
小樽商科大学	<ul style="list-style-type: none"> ・本学OBによる、就職についての悩み相談や面接指導を行う就職アドバイザーの配置 ・キャンパス内で企業等セミナーの開催 ・公務員希望者へ「公務員受験対策講座」の開設 ・本学同窓会の支援で就活目的のための旅費等を無利子で貸し出す「融資制度」の開始
北海道教育大学	【函館校】 教員希望者に対して、面接指導対策で同窓会の協力により、講師の派遣協力を得て効果を上げている。
弘前大学	キャリア教育の授業で感じたことや得たことを、自らが社会見学や諸先輩と話すことで更に深めてもらうため、東京都内会社見学会及び弘前大学東京同窓会会員との懇談会を実施している。
岩手大学	<p>本学に求人等で訪れる企業等の方を待っているだけではなく、東北地区の各企業等を就職担当の教員と一緒に、年間150社程度訪問し、情報交換に努めている。</p> <p>また、学内で実施する企業合同セミナーについても、できるだけ多くの学生のニーズに応えるためにも、3日間で300社程度の企業に参加してもらって開催している。</p>
東北大学	学生(内定者)が中心となって、業界研究・企業研究、就職活動のノウハウ等のガイダンスを、就職活動をする(している)学生に対して開催している。 また、学生相談所と連携・協働して、キャリア形成を支援している。
福島大学	<p>①教員を含めたきめ細かな就職相談体制(開始年 平成17年度) 就職相談は、3・4年生に対し、教員の協力を含む7つの段階(①3年生向け座談会、②教員、③就職支援室、④キャリアカウンセラー、⑤内定者、⑥OB・OG、⑦4年生向け就職相談会)に分け、学生の状況に応じて就職相談ができる体制を整えている。また、従来から実施している全学教員を通じての内定状況把握は昨年度から回数を増やし、学生の動向把握に努めており、就職が決定しない学生に対して教員と就職支援室が連携して、そのフォローアップに努めている。 ※相談体制については今年度から開始のため、上記①は今後実施する予定である。</p> <p>②OB・OG名簿の作成(開始年 平成16年度) 就職後、後輩のためにアドバイスを行う学生を募集し、OB・OG名簿に登録させ、就職活動中の学生からの要望に応じて紹介している。今年度から個人情報保護法が制定されたことに伴い、大学独自の取組みの必要性が高まっていることから、今後教員を通じて名簿登録を呼びかける。</p>
宮城教育大学	<p>本学では、昨年10月1日よりキャリアサポートセンターを開設し、これまで分散していた就職支援の機能を同センターに集中させ、就職情報の提供、就職相談、就職意識の啓蒙等、学生への就職支援活動をより円滑に推進できる体制づくりを行った。</p> <p>さらに、本年4月1日より、元公立学校校長経験者3名を「就職支援インストラクター」として招き、教員養成大学としての就職支援体制を強化した。就職インストラクターの経歴はそれぞれ小学校・中学校・高等学校と校種が異なっており、学生に対するアドバイスも、経験した専門の立場から、現場に密着した細かい指導が期待される。教員採用試験対策としては、特に論作文・ピアノ・面接に重点を置き、就職支援インストラクターによる日常的な指導体制をとっている。</p> <p>また、3年次対象のキャリアアップ講座は、月曜1コマ、水曜3コマ、金曜5コマの固定枠での開催を原則とし、学生の予定がたてやすいように配慮した。</p>
群馬大学	群馬県若者就職支援センターの協力を得て、本学キャリアサポート室に「ネットカウンセリング用ブース」を設置し、テレビ電話回線を結び、専門のキャリアカウンセラーによる学生の就職に関する様々な相談に体制を整えた。
埼玉大学	就職への動機づけを高めることを目的に全学向けの教養教育科目として、仕事、社会人、埼玉、世界、NPO、スポーツマネージメントといった様々な角度から社会を見るテーマ教育「社会と出会う」プログラムを開設している。
横浜大学	業界別就職セミナー:学生の就職意識の高揚を図るため、学生からの要望の高い企業の本学出身者OB・OG採用担当者により、業界の各々の会社概要等を直接紹介する。(業界・企業研究の一環として企画したもの、業界を取り巻く環境、会社の展望・方針・戦略及び採用関連情報等)
信州大学	<ul style="list-style-type: none"> ○キャンパスが5ヶ所に分散していることから、全ての学生の同時受講を可能とするため遠隔講義システムを用いた就職セミナーを開催している。 ○全学部1年生を対象とした共通科目(主題別科目)「現代職業概論」を開催している。
新潟大学	<p>1. 東海大学との就職支援提携 キャリアセンターでは、首都圏の総合私立大学である東海大学と平成12年12月より就職支援提携を結んでいる。 これにより本学の学生は、首都圏の就職・求人情報を東海大学で入手することができ、また、東海大学の就職支援行事への参加や、東海大学の職員によるカウンセリングサービスを受けることもできる。 平成16年からは、両大学の就職担当教員及び就職担当事務員が、合宿形式の研修会を合同で実施しており、交流を深めている。</p> <p>2. 就職課長と語ろう会 学生が進路に関する不安・悩みを語り合う場所として、またセミナー等には参加しない学生やキャリアセンターに來ない学生を発掘する手段として、「就職課長と語ろう会」を、平成16年10月から月2回開催している。予約の必要はなく、自由に参加できる会で、すでに参加者は延100人を越えている。</p>
お茶の水女子大学	<p>就職支援においては、就職ガイダンス(講演型のガイダンスから実践向けのガイダンスへの転換)はもちろんのこと企業セミナー(業界研究・業種研究)・企業合同研究会・企業説明会・OG懇談会等を積極的に実施している。また、実施に当たってはアンケートを実施し、学生の意見を反映した企画を目指すとともに、各企画の終了後には報告書を作成し点検と評価を受けることにより、より質の高い就職支援の取り組みを図っている。</p> <p>キャリア形成支援においては、授業科目としてではないが女性の多様な生涯を展開したキャリア教育の充実のために第一線で活躍する卒業生を講師に招いてのキャリアガイダンスを実施している。</p>
電気通信大学	<p>平成17年4月から、学部1年生を対象に、キャリアデザインAを実施。</p> <p>平成18年4月から、学部2年生を対象にキャリアデザインBを実施予定。</p> <p>平成19年4月から、学部3年生を対象にキャリアデザインCを実施予定。</p> <p>夏季休業を利用した、工場見学等の実施。キャリアデザイン教育における「教育ボランティア」の募集。</p>
東京大学	学生全体をまとめる総幹事(1名)副幹事(3名)を選出し、企業説明会及び企業見学会等の連絡調整、進行、さらに就職支援プログラムを立ち上げ、情報提供、学生間の連絡、企業幹事等のとりまとめを行っている。(工学部・工学系研究科)

参考資料(3)

校名	就職支援・キャリア形成支援に関する特色ある取り組み、強化・充実している取り組み、工夫点等
東京医科歯科大学	平成18年度からセミナー、ガイダンス、模擬試験、面接を3年次・4年次にわたって行う。(保健衛生学科)
東京外国語大学	OB、OGをアドバイザーに依頼して、「キャリア相談」を実施。10月期から3月までの間で34回実施。
東京学芸大学	OBによる相談会を就職行事に取り入れた。(企業、公務員各1回)
東京農工大学	就職相談員(キャリア・アドバイザー)は本学の卒業生で、企業の人事部等に勤務していた経験がある者又は、本学の教員で定年により退職した者が担当しており、エントリーシートの書き方や進学又は就職するか悩んでいる学生にきめ細かく相談に応じており、学生からは好評である。
富山大学	就職分野で地域に貢献すると共に、本学学生の就職活動のモチベーションの維持向上を図る目的で、他大学学生も参加できる富山県内企業説明会を学内施設を会場として実施している。学年末休業期間中に実施することで、本学学生及び県外への進学者が容易に参加できるようにしている。また、北日本新聞社(地方紙)と共催することで、広く県内に周知することができる。
愛知教育大学	教員就職への取組みとして、本学OBで元公立学校長経験者による教員就職相談を実施。教員採用試験に向けて論文指導、面接指導、その他いろいろな相談を行っている。その他、企業就職等への取組みとして、元就職情報会社員の就職相談員による相談を実施している。
名古屋大学	学生ボランティア・学生サークル活動による学生相互支援
北陸先端科学技術大学院大学	SPI模擬試験を年8回実施している。(各研究科合計)
滋賀大学	業界セミナー……学生が興味を持ちそうな業界の代表的な企業を呼び、業界全体の話聞く。 なお、H16年度の6業界からH17年度は8業界へ増やした。 就職セミナー……本学に求人意欲の高い大企業等の人事担当者が、本学のOBと共に各企業の具体的な採用方法についての説明を行う。 なお、H16年度の113社からH17年度は132社へ増やした。
京都工芸繊維大学	キャリア教育について検討中。
大阪外国語大学	学生の就職及び自身のキャリアに関する意識を向上させるため、30社程度の企業を招き、業界研究や各種セミナーを内容とする「大阪外国語大学就職フェア」を年一回、2日間に渡り開催している。
神戸大学	学部が11あり、それぞれ固有の専門性とニーズに対応した就職支援をしている。また、学務部就職支援室を中心に各支援組織(学部就職委員会、同窓会、東京オフィス、学生就職支援活動団体、外部協力者、大学生協等)とメーリングリストを利用し、ネットワークを構築している。
岡山大学	◎ 就職アドバイス会 内定アドバイザー等の募集、広報に力を入れ、本年度参加者数は昨年度の2倍になった。
山口大学	YYジョブサロンin山(山口県若者就職支援センターキャリアカウンセラーによる)を開設し、各種の相談・セミナー等を実施している。
香川大学	(農学部)毎年、企業20社あまりの採用担当者を招き、学部内で企業説明会を開催している。大阪などで開催される大規模な企業説明会にはなかなか参加できないので、学生には好評である。
九州大学	各種案内は、掲示、ホームページのほか、大学生協のダイレクトメールを利用している。
福岡教育大学	教員採用試験対策として、大学教員・OB等による特別講座、面接、模擬授業を開設している。
熊本大学	1)個別アドバイス力強化 ・専任相談員を2名増加 ・課内で朝会を実施し情報の共有を強化 ・教員向け勉強会 2)メーリングサービス ・タイムリーな求人情報及びセミナー等の提供(未内定学生、3年生向け) 3)ジョブカフェスタイル ・キャリア支援課内を学生が集まりやすい空間に変更 4)キャリアデザインセミナー ・自分たちの体験を生かした就活ナレッジ～卒業まで後輩達に体験談をアドバイス
大分大学	学生周知用の掲示とは別に、ガイダンス等開催1週間前から対象学年に対し、それぞれの講義時間前に就職支援室の職員がガイダンスのチラシを配布して、学生への周知及び参加を呼びかけている。
宮崎大学	1.「高等教育コンソーシアム」の企画で、市内の5大学・短大(国立①、公立①、私立②、短大①)が共同して、2月～3月に福岡市で開催される大規模な合同会社説明会に低廉な貸切バスを提供している。(通常、宮崎一福岡(往復)10,000円 → 3,400円(経費は全額自己負担)) 2.「とても元気!宮大チャレンジ・プログラム」について 将来、社会でリーダーとして活躍する宮大生の企画・運営・実施能力を高めるプログラムとして、平成14年度から実施している。平成17年度は、支給総額1,000万円に大幅アップし各種の企画を募集したところ、学生の自主的な就職研究会「SHU-KEN」の設立につながった。
琉球大学	・ジョブカフェ(沖縄県キャリアセンターランチ)の学内設置 ・ハローワーク及び雇用・能力開発機構からの指導員配置
はこだて未来大学	就職支援に関しては、「底上げ」に配慮したカリキュラムで取り組んでいる
会津大学	就職活動支援のため、春休み期間中に安価で利用できる東京までのバスを運行している。
宮城大学	キャリア開発を授業として取り入れ、必修科目として取り入れている。
秋田県立大学	2年次からのキャリア開発講座、インターンシップの実施等、早い時期からのキャリア形成支援を実施しています。また、教員や就職担当者による年600社にものぼる企業訪問や、学内での企業面談会の開催、就職担当教員、就職情報センターでの個別面談等により、個々の学生に対応するきめ細やかな支援に取り組んでいます。

参考資料(3)

校名	就職支援・キャリア形成支援に関する特色ある取り組み、強化・充実している取り組み、工夫点等
群馬県立女子大学	①キャリア教育の授業化だけでなく、就職活動支援事業(マナー、自己理解、公務員試験、教員試験、英語資格)の授業化、②全学生を対象とした定期的(年度当初、3年生は10月に全員面談)な進路希望動向把握、③就職希望者全員を対象とした学内模擬就職試験(エントリーシート提出、模擬面接を一体的、連続的に実施、1人90分)、④進路支援事業をすべて無料で実施、⑤単位取得状況、学生家庭環境・生活環境を把握した上での個別・直接的な支援等、小規模大学の特性を生かした「全員に、1人1人に」支援を行っている。
新潟県立看護大学	面接体験報告書ファイル閲覧 就職希望先訪問のためのアドバイスを年2回実施 求人情報コーナーの充実、整理
富山県立大学	・就職情報室を24時間開放するほか、企業から寄せられた求人情報を掲載するHPを、学内のどの場所からも閲覧できるようにしている。 ・企業から卒業論文テーマを募集し実践する等、学生と企業の直接的なコミュニケーションをとっている。
大阪市立大学	本学卒業生の就職実績の多い企業約170社(17年度予定)から人事担当者および卒業生を招き、毎年2月中旬に会社説明会を実施している。
大阪府立大学	就職支援と英語力の向上のために、学内で英会話教室を学外からの講師により実施している。
長崎県立大学	○ 卒業生による就職指導 (OBセミナーの開催) エントリーシート添削、面接指導 (東京、佐世保、大分)
県立長崎シーボルト大学	教員との連携を密にし学生への就職支援の強化に努めている
沖縄県立看護大学	・就職及び進学情報の閲覧室として進路相談室を設置している。 ・組織的には進路就職に関する相談窓口として進路対策委員会を設置している。
藤女子大学	本学の就職支援では、学生数が少ないこともあり学生が担当者と常に連絡を取りながら活動が出来るよう配慮している。連絡方法も電話を中心に、学生の心理状態などを把握し、必要であれば就職課にて面談や外部のキャリアアドバイザーなども紹介するなど、活動先の情報を伝えるだけでなく、学生が安心して利用できるサポートを目指している。
北星学園大学	1. 特色ある取り組みとして「企業等訪問研修」を実施。企業等へ1日程度訪問し業務説明と職場見学を行う研修で、2000年度から継続しており参加者数は実人数で334名(延べ835名)に達し、実人数で対象者の約3割に達している。1日であっても直接企業を訪問することで学生の意識変化があり、影響が大きいと思われる。 2. 就職支援の取り組みとして、従来から学生の「個別相談を重視」して強化支援している。学生と互いに顔の見える信頼関係を構築する中で、学生個々人のキャリア形成を築き上げていく。 3. 少人数就活塾の開講。キャリアカウンセラーによる少人数の話し方、聞き方講座を開講し、総合的なキャリアデザインプログラムと個別指導のつなぎ的な位置付け。学生の要望にあわせてテーマ設定し、今後多くの講座を開講予定。
酪農学園大学	担当職員配置を個別ブース化して相談内容が他人に聞こえないようにしている
北海道工業大学	・1年生から2年・3年と段階を踏んで、キャリア形成支援を行っている。 ・2年生後期と3年生前期に正課授業として開講する「キャリアデザイン I・II」に、体系的に繋がるよう実施している。
北海道薬科大学	・各部、委員会、クラス担任、同窓会、桂青会(親睦団体)等と連携し、就職準備とともに社会人として、大人として成長を促すプログラムを作成し、正課の教育を直接・間接にサポートする。 ・授業時間割に毎週1回のクラスアワー(単位認定)を設け、1年次から就職指導を行う。
北海道情報大学	フリーター、ニートにさせないために、個別指導を重視し、一人でも多くの学生と対面で指導することを強化している。
浅井学園大学	専門的なもの(ビジネスマナー、SPI対策等)や学内説明会以外の就職活動支援ガイダンスは基本的に自前で行い、カウンセリングに来た学生に関連性を持たせている。
千歳科学技術大学	本学では学生の就職意識向上のためインターンシップに特に力を入れております。今年度は3年次在籍学生の約4分の3が参加を希望し、希望者中約6割の学生がインターンシップに参加しました。
星槎大学	星槎大学は通信制であるが、希望者に対し一般的・個別的指導を行うために、通学制の要素を取り入れ、週1回～2回 学習センターにおいて、ソーシャルスキルトレーニング、公的資格に修得など独自の活動を行っている。
東北学院大学	就職適性検査、インターンシップ、グループ単位での就職面談会、就職内定者によるアドバイス会
宮城学院女子大学	予約制による就職相談。
石巻専修大学	本学の就職支援の取り組みの特徴は、その支援体制にある。専任教員で組織された就職指導部と事務組織である就職課が連携をとり、講座や行事に工夫を凝らしている。また、就職指導部委員と就職課の職員から組織された就職指導委員会が教授会と連携をとり、具体的な就職支援に関する事項を決めている。就職指導部委員は学生の就職・進路支援の中心的な役割を担い、所属する学科の教員と連携をとり、学生に対して個別面談を行っている。就職課では、学生に対して履歴書・エントリーシートの添削や模擬面接、求人企業についての質問など、様々な個別面談を随時行い、また、講座や行事を企画・実施している。
仙台白百合女子大学	少人数の大学の特徴を活かして一人ひとりの徹底指導をしている。
東北文化学園大学	就職支援システムの導入による全学生の状況把握
千葉商科大学	学生一人ひとりが低学年から職業観の醸成や職業選択をはじめ、大学での学習進路及び生き方の方向性を自ら切り開いていく能力を養成するためのキャリアアップ科目群の充実。
和洋女子大学	講義形式の講座をいくら強化しても、学生が自ら行動し、自らを変えていこうとする感性が育っていなければ、徒勞に終わる可能性が大。したがって、カウンセリング手法をよる個人指導を強化し、その経過を教員と共有していく。その地道な過程の中でしか、本人が気づき、自ら行動し、体験を通じて真の知恵を習得していこうとする人間力は強化できないのではないかと考え、ハウツー的アプローチは捨て、ど動機付け支援に徹し、実行している。
神奈川大学	1年次からのキャリア形成支援のプログラムを実施しており、1年次では自己理解とポジティブシンキング、2年次では職業と学問、問題発見能力の養成、3年次では表現力および就職実践講座を開講している。また2006年度入学生からは全学共通プログラムとして正課の授業として実施する。

参考資料(3)

校名	就職支援・キャリア形成支援に関する特色ある取り組み、強化・充実している取り組み、工夫点等
鎌倉女子大学	個別対応を中心としたきめ細やかな就職支援を特徴としています。
相模女子大学	実体験こそが成果の得るものだと考え、学生を外に出して経験させている。
山梨学院大学	本学では、入学時から進路ガイダンスを実施し各学年でキャリア支援のためのプログラムを企画し、学生の気づきと自主性を伸ばす取り組みをしている。たとえば、1～2年生向けキャリアプラン講座や自分探し仕事探しセミナー、そして公務員受験対策講座などがある。また、資格等を取得することによるスキルアップを目指す学生向けには、学内で各種資格取得対策講座(有料講座)も開講している。更に、3年生向けには就職試験対策講座、就職対策講座(グループワーキング体験)、コミュニケーション能力アップ講座、就職合宿セミナーなどを実施している。
跡見学園女子大学	①1年次から始まるキャリアデザインプログラム ②一人一人に応じたキャリアサポート ③自己決定への積極的支援 ④自分らしさの追及と個性の強化 ⑤求人情報の積極的な個別紹介
城西大学	学生個人別担当制を実施し月1回の連絡をしている。
フェリス学院大学	・小規模の大学である点を生かし、学生一人一人に対するきめ細かい支援を行っている。 ・授業や就職講座などでキャリアに関して考える機会を提供し、様々な角度から自分の将来について考えるきっかけを作っている。また、その上で授業や講座の中でも学生との接点を多く持つよう、アンケートを取るなどの工夫を行っている。
長野大学	平成16年度から厚生労働省の「YESプログラム」講座に取り組んでおり、大学入学時からのキャリア支援を始めている。
茨城キリスト教大学	職業観を育てる第一歩として、EQ(行動特性検査)とR-CAP(職業志向度診断)を導入。EQは自分の言動や行動の特性、スタイルを把握するテスト。低学年(1年次)から受検することが可能なため、早い時期からキャリア形成に役立てることができる。また、3～4年次の就職活動期にはR-CAPの結果を参考に、どんな仕事に興味を持ち、どんな仕事に就きたいと感じるのか、興味・価値観・志向を多角的にとらえ、よりの確なアドバイスを行っている。
日本工業大学	学内LANを利用した「就職支援システム」により、教員と就職課職員が一体となって徹底した個別指導をおこなっている。 また、低学年のキャリアガイダンスを計画的に実施することにより、就職支援ガイダンスの出席者が10パーセント以上伸び、学生が就職課を利用する時期が早まり、訪れる人数も増え、相談数も前年度より2倍に増えている。これは、学生の就労意識の向上に影響を及ぼしていると考えられる。
上武大学	①資格取得者への奨学金。 ②産学連携によるオンザジョブトレーニング(学内において)。
聖マリアンナ医科大学	本学は単科大学であり、卒業後の進路はほとんど全員が国家試験合格後、各研修病院にて初期臨床研修を行っているため、特色ある就職支援の取り組みは行ってない。現在、行っている就職支援としては、医師臨床研修マッチングに関することと、送付されてくる他の大学病院・臨床研修指定病院の資料、また病院見学実習や、セミナー等の案内を分類整理し、ファイルしたものを自由に閲覧できるようにして更にそれらの情報を一覧表にまとめ、ポスターと併せ掲示板に貼り周知を図っていることである。
神奈川工科大学	キャリアアドバイザー制度(低学年からのキャリア支援)
産能大学	・実学志向の大学なので、ビジネスの世界で役に立つ授業が多い。(インターンシップ、企業のトップ層を招いた講演、コンピュータ実習、資格取得関連の授業) ・マンモス大学ではない利点を活かし、学生の個別支援に力を入れている。(ゼミ単位に職員を配置し内定獲得まで同じ担当者が継続指導)
国際大学	毎年1月中旬～2月上旬及び4月中旬～5月下旬の2回にわたり「オンキャンパス・リクルート期間」と称して、本学学生の採用並びにインターンシップの受入れを希望する企業等の担当者をキャンパスに招聘して、採用情報等のプレゼンテーションや希望者に対する面接を実施している。
常磐大学	学生の就職活動への喚起を起こさせるようなプログラム、開催時期等を意識している。特にプログラム参加者に対してアンケート等を実施し、次のプログラム内容・時間等に活かせるようにしている。また、参加者を把握し、どのプログラムにどの学生が出ているかなどの分析を行っている。その結果をゼミナール担当教員へ渡し、参加を呼びかけたり就職指導の材料としてもらう場合もある。
白鷗大学	学生の希望求人条件と来訪企業を中心とした求人情報をマッチングさせ、メールで学生に知らせている。
聖学院大学	保護者に対するキャリア講演を年2回実施している。学科・教員とキャリアサポートセンターとの連携が積極的に行われ、動員面の増に繋がっている。
東京情報大学	就職支援については、就職課が実施する就職支援行事やカリキュラム科目である「基礎ゼミ」(コミュニケーション能力の向上を目的とする)などが主であるが、今後は、広く社会が求める人材が備えるべき能力であるコミュニケーション能力(意思疎通、協調性、自己表現力)、ビジネスマナー(社会に必要な基本的なマナー)、基礎学力(読み書き、数学的思考力、社会人常識)、職業人意識(責任感、向上心・探究心、職業意識・勤労観)および資格取得(情報技術関係、経理・財務関係や語学関係など)を体得させるためのキャリア形成支援を平成18年度より順次カリキュラム化(「情報社会と職業」、「キャリアデザイン」、「インターンシップ」)する予定である。
作新学院大学	少人数(30名前後)による就職実践対策講座(名称:特講ゼミ)の開設(本年度より外部講師)
聖徳大学	・小学校、公立幼稚園教員採用試験合格の為の特別講座 キャリア支援室主催の講座内容:一般教養試験対策 学科教員主催の講座内容:専門科目試験対策 ・公務員採用試験合格の為の特別講座 キャリア支援室主催の講座内容:一般教養試験対策 学科教員主催の講座内容:専門科目試験対策 ・企業就職希望学生向けの就職支援総合対策講座 10月～2月の間、毎週2回開講。対象学生の過半数が受講している。

参考資料(3)

校名	就職支援・キャリア形成支援に関する特色ある取り組み、強化・充実している取り組み、工夫点等
文京学院大学	<p><経営学部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格取得 自信を持って活躍できる有能な企業人育成を目指す経営学部では、実社会ですぐ役立つ資格取得を奨励しており、検定試験に合格した場合に、検定料を奨励金として支給する制度がある。 ・飛び級制度 3年終了時に規定の条件を満たしている場合「飛び級制度」を利用して本学を3年で卒業、併設大学院へ進学でき、税理士、公認会計士などの上級資格を目指す学生のステップアップに優れた制度がある。 <p><外国学部></p> <p>さまざまな資格取得や検定試験合格を目指す人のために、カリキュラムの中に資格対策講座が開講されている。英検1級取得講座、TOEIC高得点取得講座、TOEFL高得点取得講座、初級通訳ガイド講座、日本語教育能力検定講座、簿記上級検定講座、シスアド講座、その他</p> <p><人間学部></p> <p>4学科で形成しているが、保育学科、人間福祉学科は入学時から卒業後の進路が明確であり、国家資格を取得して専門職になっていく。心理学科は、併設の大学院を修了すれば臨床心理士の受験資格を取得できる。共生社会学科は、まさに「自分探し」のためのキャリアデザイン支援学科である。</p>
筑波学院大学	現在女子大生だけなので、ウオーキングの研修迄も、就職支援のためのマナー講座として行っている。
文星芸術大学	外部講師による就職講座
東京福祉大学	<ul style="list-style-type: none"> ・個別面談(希望進路の確認、就職活動状況の確認・就職活動全般に関する相談) ・模擬面接(個別での模擬面接、入室～退室までのマナー、応答の仕方、自己PR等) ・履歴書、小論文の添削
高崎健康福祉大学	呼び出しによる個別指導
高崎商科大学	<ol style="list-style-type: none"> ①保護者向けの相談窓口⇒学内で行われているガイダンス情報や内定状況等を知らせ、保護者からの疑問や不安を解消している ②キャリアインサイト(職業適性診断システム)の導入⇒従来の適性検査と違い個別のカウンセリングが行われるので学生の最も多い悩みである、自分が何に向いているのか?どう就職活動を展開していけばよいのか?が解消される
共栄大学	3年生を対象に就職準備講座を14時間(2日間)実施
埼玉学園大学	3年次11月～12月にかけて、全員を対象とした個人面談の実施。その際に「進路希望登録カード」の提出を受け、卒業後の進路について話を聞く機会を設け、アドバイスをこなっている。その後、4年次の5月において、再度面談を行い、就職活動状況の確認をしている。
浦和大学	在学4年間のキャリア支援スケジュールによって低学年より計画的に支援に取り組んでいる。
清泉女学院大学	ゼミ担当の先生方にも学生の就職活動の把握を依頼、担当部署と連携を図っている。
大宮法科大学院大学	・学内及び学外に市民を対象とした無料法律相談窓口を開設し、学生は相談に立ち会うことができる。
青山学院大学	各種支援行事の見直しによりマンネリ化しがちな支援行事・配布資料をより利用価値の高い内容に改善した。
学習院大学	<p>現在の採用試験は人物重視の傾向があり、面接試験により重点が置かれている。このため、毎年2月初旬の土曜日、日曜日の2日間「面接試験対策セミナー」と称した行事を行っている。これは、卒業生講師100名以上を学内に招き、50クラス(1クラス14名)を編成して、徹底的な面接指導を行うものであるが、テクニックよりも学生の個性を引き出し、それをいかに表現できるようにするかを鍛えていく。これにより学生は、自信を持って本番の面接に臨めるようになる。</p> <p>筆記試験対策として、SPI試験や一般常識テストの模擬試験を学内で実施しているが、なるべく多くの学生に受験してもらうため、費用の大半を大学の予算から支出し、学生負担を500円としている。</p>
共立薬科大学	薬学単科大学としての教育内容に基づいた就職支援をベースに薬学という学問の幅広さに適応した職業選択の自由度を損なわないように支援内容を常に見直しております。
工学院大学	本学OBによる就職支援アドバイザー制度
國學院大學	民間企業、公務員、教職、マスコミ各業界につき、学外就職アドバイザーを招き、全学年を対象に就職・進路へのアドバイスをこなしている。
国際基督教大学	<ol style="list-style-type: none"> 1)就職支援に向けては、就職登録者全員に個別相談を実施している。 2)就職登録者全員にメールマガジンを配信している。 3)卒業生によるキャリア支援のシステム「キャリアサポーターズ制度」がある。 4)内定学生による就職支援の制度「就職活動リーダーズ」「就職活動アドバイザー制度」がある。
実践女子大学	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年に対しては、「キャリア形成支援」の主軸として「人間力育成」(一自ら考え、自ら行動する人材の育成)を目指している。3年生後半から4年生にかけては「実践力育成」のための講座を開催、就職活動の実質的な支援を行っている。 ・3年生に対しては、6月より11月末まで(夏期休暇中は除く)、就職希望者全員を対象に、キャリアセンター職員による集団面接を実施、進路決定ならびに就業意識強化の一助としている。その後は個別面談に切り替え、外部特別合同ゼミナール:3・4年生のゼミナール時間を就職対策講座に振り替え、必修としている。(年2回)
順天堂大学	特別合同ゼミナール:3・4年生のゼミナール時間を就職対策講座に振り替え、必修としている。(年2回)
上智大学	低学年次生の合宿研修(05年は8月に2泊3日)
女子美術大学	美術大学であるため、業種・職種を限定して考える学生が多く、求人職種も対応できるようにシステムを整え、職種別求人一覧表などを冊子にして配布している。また、専門職求人が新卒採用として就職情報サイト(リクナビなど)に掲載されず、求人情報も大学に提供されないことも多いため、学生が志望する傾向の資料本を多数備え、個人面談を通して資料本や企業の紹介を行い、企業を発見し企業研究が行えるように助言、支援をしている。また、履歴書における文章能力を強化するため、履歴書関係のガイダンスに力をいれるとともに、履歴書・エントリーシートの添削を行い、表現方法の強化に努めている。
成蹊大学	私どもは就職活動も重要なキャリア形成の機会と位置づけています。特に社会人になるために学生感覚とのずれをいかに補正していくが最大の課題と考えています。重点的に実施している個別相談のなかで、就職活動を通じて経験したことや得た情報について、自己解釈することなく客観性をあたえてやることに力を注いでいます。

参考資料(3)

校名	就職支援・キャリア形成支援に関する特色ある取り組み、強化・充実している取り組み、工夫点等
聖心女子大学	①産学連携教育プログラム(「日経・ビジネス講座」)実施 ②CSR(企業の社会的責任)関連情報の提供 ③民間就職以外の進路(進学、教員、公務員)に関する季刊誌発行 ④「大学院進学支援ワークショップ」の実施 ⑤「資格ガイダンス」及び各種資格(司法試験、公認会計士、司法書士)についての説明会の実施
中央大学	面接対策のため、合宿形式で有料のセミナーを実施している。
東海大学	就職支援企画につきましては、3年生の夏休み前のガイダンスをスタートとして、それ以降につきましては①就職とは②就職にあたっての準備(心構え)③各種模擬試験(無料・有料)④各種セミナー(無料・有料)等を4年生の5月まで実施しています。特に3年生の10月～12月にかけては、ほぼ毎日何らかに企画を実施しています。また、2月と6月に学内合同説明会を実施。2月開催は750社、6月開催500社を招聘。マスコミ講座は、1年生より参加可能(有料)です。
東京家政大学	保護者への情報提供と子が就職するためのバックアップの要請をし、家庭と大学が連携して学生の就業を推進している。
東京経済大学	本学OBで組織している、葵流通会・金融会・マスコミ会と協力し、交流イベント・相談イベントを開催する等、OB・OGを有効に使っている。インターンシップを授業で取り入れる等、充実・拡大させており、一人でも多くの学生に就業体験を積んでもらうよう努力している。また「地域インターンシップ」を開催し、国分寺市の企業・行政機関のみを受入機関とし、連携を深めることで、地域に根ざす大学の一面を強化している。
東京女子大学	①出来るだけ学生が将来の自分の姿をイメージできるようロールモデルとなる卒業生や4年生に話してもらう機会をできるだけ多くとるようにする。 ②年3回実施する就職ガイダンスと各セミナーを有機的に連絡させ効果を上げるよう工夫している。第一回ガイダンス→第二回ガイダンス(OGによる講演”女性が働き続けるということ”)→入社後3～5年目の社員によるOG懇→企業人事担当者セミナー→第三回ガイダンス(OGによる現役面接官の講演”就職合格内定に近づくためのヒント”)
東京女子体育大学	「Let's study」・・・教員採用試験対策を中心に、教員がボランティアサービスとして希望学生を毎週指導する。
東邦大学	就職総合講座(有料)を開講し、就職に対する総合的に対策を行っている。
東京音楽大学	学生正課外活動をサポートする「アクトプロジェクト」。実社会に通用するスキルを獲得するための機会を提供する。
日本女子大学	学内諸機関との連携(資格取得のための講座開設、就職支援講座開設)
星薬科大学	1. 会社情報を得るために会社直接に接することが出来る様に工夫している。学生食堂前で行う会社アピール。昼休みを利用したランチョンセミナー。学内で130社規模で行う企業説明会。 2. 就職指導には一流の講師のレクチャーと実践のワークショップ方式を採用している。特に自己分析、面接対策は好評である。 3. 又、TOEIC促進策としてガイダンスの実施、600点以上の取得者に受験料の肩替りや再挑戦者に半額補助をしている。また、受験促進のため大量の参考書を貸与している。
武蔵大学	4月に3年生にたいして、就職課職員の個人相談担当者を決定する。内定が得られる時点まで、個人相談中心に指導・支援体制を行う。
武蔵野音楽大学	音楽専門学校の為、就職支援のほか、個別指導に力を入れている。
明治大学	「就職は挑戦である」をモットーに、FACE TO FACEを重視し、相談にあっている。また、学生のニーズを汲み取り、支援行事を実施している。課員全員が相談にあたるが、駿河台においては、常時4人の相談員をおき、きめ細かな相談を行っている。
明治薬科大学	3年生を主体に行事・企画を行っているが、低学年を含めて早めに自分の進路を考えるよう動機づけを行なっている。特に個別面談を重視した進路支援を行なっている。
立教大学	少人数の学生を対象として、グループワーク等の体験型プログラムを実施している。このようなプログラムでは、学生一人ひとりが主体的に参加し、参加学生同士の働きかけ、相互作用により成長が見られるケースが多い。また内定者の4年生が「立教キャリア塾」を組織し、ボランティアで3年生の就職支援プログラムを企画・実行している。このキャリア塾を経た若手卒業生組織「立教ビジネススクリエーター塾」の事務局をキャリアセンターがサポートしており、この勉強会のメンバーによる後輩への就職相談会を開催し、3年生向けの就職支援としている。
早稲田大学	就職課という名称のときは、100講座程度しか行わなかったガイダンスも現在では500以上になった。かつては4年生以上のみを対象にすればよかったが、現在は1～4年生以上および卒業生をも対象にしているので支援体制としてはかなり強化・充実したといえる。特に、低学年に力を入れるようになったのが特色ある取り組みである。また、学生キャリアアドバイザーという4年生にも協力を得て、3年生以下にアドバイスをしてもらっている。一番の特徴はキャリアセンターがキャリア支援の中心になるのではなく、学部中心で支援してもらうことを目的として連携を図ることにある。
杉野服飾大学	産学連携による授業を実施。
明星大学	・公務員等資格取得に関しての講座の充実。キャリア形成の第1歩である自己分析・自己表現講座の実施等。 ・職員が学科をそれぞれ担当して、学生の個別指導に当たる。 ・E-mailによるキャリアカウンセリングの実施。 ・1年生の「自立と体験」による低学年からのキャリア形成の動機付け。
日本女子体育大学	体育大学としての特徴が強みになるような支援を目標としている。秘書検定や簿記など付加価値がつくような講座を開いたり、舞踊専攻の学生に特化した支援も実施している。強化している取り組みとしては、低学年に対して職業意識の明確化や気づきにつながるような「教養演習」を正課として実施している。

参考資料(3)

校名	就職支援・キャリア形成支援に関する特色ある取り組み、強化・充実している取り組み、工夫点等
武蔵野大学	○適性適職検査の実施とキャリアサポートシステム(適性検査を全学生が実施):平成16年度より、学生の適性適職を科学的に理解するために、1~3年生まで全学生に無料で適性適職検査「Personal Focus」(本学と業者で共同開発)を実施(平成17年度実績3,628名受検)。また、そのデータ(過年度分を含む)をデータベース化した「キャリアサポートシステム」も稼働し、学生が自分の変化をシステム上で確認するとともに、適職選択の参考となる検索も可能となっています。 ○キャリアアドバイザーの常駐(半年で666名が利用):平成17年度より全学生を対象として、平日、就職相談専門のキャリアアドバイザー(キャリアコンサルタント等有資格者)を2名配置し、学生の就職相談、履歴書、エントリーシート・面接等の指導を実施しています。キャリアアドバイザーの捉えた課題はキャリア開発担当者にフィードバックされ、就職支援プログラムに反映するなど、有機的に機能しており、9月現在までに666名の学生が利用しています。
桜美林大学	インターンシップやアルバイトの前後に事前・事後の研修を行っており、就職活動の事前練習と位置づけている。
杏林大学	就職ミニ講座を年間20回程度実施し、履歴書やエントリーシートの記入及び自己分析、面接試験対策等の指導を実施している。
恵泉女子学園大学	就職先の企業開拓と並行して、学生の「就職力」の向上を図る。具体的には「筆記試験対策」「面接対策」「論文対策」の講座を学内講師・外部講師を配置し開催。また、その前提となる学生への職業理解、就職への意識向上を実現するセミナーなどを適宜開催。
東洋英和女学院大学	企画、実施には必ず職員が参画し、常に学生ニーズに対応した支援に努力している。
学習院女子大学	1. 学習院大学との協調 同一法人内に男女共学の学習院大学と学習院女子大学の2つの大学が存在する、全国的に見ても数少ない特色を生かし、本学就職部と学習院大学就職部では、お互いの大学で開催するセミナーの一部を開放している。本学学生と学習院大学の女子学生は両大学の就職セミナーに参加できるため、学生にとってはセミナー受講の幅が広がるというメリットがあり、就職部にとってはセミナーの開設を相互補完することができるメリットがある。 2. 卒業生組織の協力 男女共学の大学であれば、OBの協力を得て、模擬面接を行なうことが出来るが、女子大学では困難である。そこで、本院の卒業生組織である「桜友会」の協力のもと、人事担当者または人事経験者を中心に学習院大学OBの協力を得て、企業の面接試験を模擬体験させる「面接対策セミナー」を実施している。
ビジネス・ブレイクスルー大学院	本学学生は就業経験者のみで、自身でキャリア形成を行う一環として本学に入学するため、学校からの支援はあまり求められていない。
愛知大学	学生の協力のもと如何にわかり易く、気付きを早め、モチベーションをアップするためのガイダンス作りに取り組んでいる。
愛知学院大学	学年ごとに進路、就職ガイダンスの他、少人数単位で就職活動の方法をレクチャーするセミナーを強化し、キャリアアカウンセラーを配置し個別指導にも対応している
椋山女子学園大学	3年生を対象とした全員面談を実施している。
中京女子大学	本学では「就職」という一元的な見方ではなく、将来の「進路」全般を見据えた発想で、①学生の自己発見・自己適性等の開発支援、②学生の適性・希望を考慮した将来に対する進路支援、③自分に合った職業に就くための就職活動支援、④社会に送り出しても恥ずかしくない人物育成支援、という進路支援体制4本柱を軸に学生との関わりを持つ事に力を注ぎ、「低学年から将来を見据えた進路支援」を視野に入れた学生サービスを実践しています。また、平成13年度よりキャリアカウンセリング(進路相談窓口)を開設し、定期的(年間22回)に専門の女性カウンセラーが個別に学生の悩みや相談事への対応とキャリアアドバイス等カウンセリングを行い、個対個によるコミュニケーションアップに努めています。
同朋大学	ガイダンス・セミナーの複数回実施、3・4年を通して全員に対し個別面談を4回実施
南山大学	【就職支援】 ・就職情報システムの充実。…企業情報だけでなく、先輩の就職活動体験記なども確認できる。就職活動体験記も「キーワード」による検索ができるので、大変効率的であると評価されている。 ・OB・OGとのつながり、面倒見の良さ。…中部地方中心に活躍、OB・OGは伝統的に協力的である。就職活動体験記の充実度は随一である。 【キャリア形成支援】 ・全学部共通のキャリアサポートプログラムの枠として、水曜日3限を設定し、キャリアサポートプログラムを実施している。 ・キャリアサポートプログラムは、学生の自主性を尊重するためあえて授業科目とはせず、自由参加型のプログラムを逐次実行している。 ・これにより、型にはまったキャリア教育ではなく、「自らが選択すること」をベースにした自己形成の場を提供し、そ
日本福祉大学	・インターンシップでは、中国・フィリピン(日本企業の現地法人)でも実施しており、学生の視野を広げる。 ・全国の社会福祉法人・医療法人、行政等で働くOB・OGによる就職相談をおこなっている。
皇学館大学	個人面談、いつでも相談可能な体制など、小規模大学ならではの決め細やかな就職・キャリア支援を実施。厚生労働省の提案する「YES-プログラム」を実施。
金沢工業大学	就職活動支援バスの運行。企業との懇談会「人材教育セミナー」の開催。
大同工業大学	産業界が求める優秀な人材を送り出すため、社会に直結した実学教育を行っている本学では、4年間に学生たちが身につけた知識・技術を十分に発揮できるよう、万全の就職指導体制で学生をバックアップしています。具体的には、就職について考え始める3年次から就職ガイダンスを開催するほか、各学科とも、卒業研究担当教員を通じて、キメ細かいアドバイスを実施しています。そして、学科に就職指導担当教員を配し、指導体制の充実を図っています。また、就職適性テストや能力試験などの適性も考慮し、あらゆる側面から、学生ひとりの能力を生かした就職ができるよう指導し、毎年100%の就職内定率を実現しています。
名古屋学院大学	学外のキャリアアカウンセラーを呼んで個別面接を実施している
名古屋女子大学	低学年次からのキャリア意識向上のための講座実施および授業化を検討している。また企業人を講師に招き、社会教育的な内容の講義も新規計画中である。

参考資料(3)

校名	就職支援・キャリア形成支援に関する特色ある取り組み、強化・充実している取り組み、工夫点等
愛知学泉大学	YESプログラム認定と積極的活用
岐阜女子大学	経験者による対談を実施、アントレプレナーなど
朝日大学	「就活塾」の開講。課員が就職ガイダンスのフォロー講座を行う。(内容は就職活動全般・就職活動成功の秘訣等細かいところまで就職支援を行う。就活塾A:9回・就活塾B:15回 *資料提供有)
名古屋経済大学	就職に対する意識づけを低学年から行うために、全学年を対象としたセミナーの実施。内定者に対するマナー研修(新入社員が受ける新人研修)等の実施。YESプログラム検定受検の推奨。
常葉学園大学	就職塾(5月~12月) 就職準備合宿(10月) 工場見学(2月)
東海女子大学	就職課主催の支援プログラム以外に、適時「人間形成」、「フリーター・ニート防止」等々を目的として講座(おもに実務者、社会経験者等外部講師の講演)を開催している。
豊田工業大学	・本学の場合、企業から派遣されている社会人学生と一般学生で構成されている。1年次の男子全寮制や実習、実験を含めた授業科目を通じて社会や会社の理解を促進している。 ・1年次に企業の生産現場で4週間、3年次に会社の研究開発、生産技術部門で5~6週間の学外実習を実施している。(1・3年次とも必修科目)
四日市大学	3年生ゼミ担当教員との連携により、前期・後期各1コマずつ、就職指導の時間に充てている。これにより、ほぼ85%の学生に対して、就職に関わる情報提供、コンピュータ登録などを実施している。
高岡法科大学	当学は法学の単科大学であり公務員志望者が多いところから、カリキュラム自体が受験科目と一致しているものが多い上に、教養科目についても受験を意識した構成になっている。「講義概要」の巻末には各種試験の種類ごとの受験科目や合格率などが記されている。
静岡理工科大学	学生との個別面談を重点的に実施しながら就職支援をしている。
静岡産業大学	基礎ゼミを利用し、全員にコーチングの指導、キャリアシートの作成、企業ガイダンスへ3年次生前期で参加させる、企業訪問年間800~1000社実施、学習就職相談説明会(保護者会)を教務課、就職指導室で年2回実施
鈴鹿国際大学	資格取得(漢字検定、旅行業務取扱管理者試験)に関する指導
豊橋創造大学	厚生労働省YESプログラム必修授業導入
中部学院大学	「卒業生人材バンク」登録希望調査実施。なお、大学院生及び外国人留学生など、少人数な団体を対象としたガイダンス等は全て個別対応にて支援している。
愛知文教大学	本学は、少人数教育にあり、「個人面談」を特に重視している。就職以外の進路相談などもあり、今後も「個」を大切にしたい。
桜花学園大学	本学は女子大学であるため、「女性が働くこと」をテーマとして年間22回のガイダンスを組み、就職活動に直結する自己分析、エントリーシート・履歴書の書き方、SPI対策模擬試験、面接対策はもとより様々な分野で活躍している方々、外部委託による講師講演を設定し、学生に様々な角度からアプローチし、学外施設見学、インターンシップとも連動して、学生に「社会を実体験」できる環境を整備している。
名古屋文理大学	個人面談を実施している。
金城大学	3年後期、4年前期に全員と「個人面接・相談会」を実施。(一人30~60分)
静岡文化芸術大学	本学は1学年300名(定員)と少人数のため、就職室職員が3年次生全員と個人面談をして、進路・就職のアドバイス・指導を行っている。
大谷大学	次年度よりキャリア支援の一環として、本学独自のインターンシップを実施予定。
京都女子大学	進路カードによる面談会により、個々の学生の状況を把握、OGとの懇談会や学生プレースメントサポーターによる相談会により社会で求められる人物像や具体的な活動方法の実体験を聞く機会を設けている。
同志社大学	本学の就職支援はごくオーソドックスを旨としていますが、それに対しては最大限の努力をしています。オーソドックスとは、学生に長い人生のための活力を与えること、生きるための知の基盤づくりに必要な「確かな教育」に努めること、学生と進路について徹底的に話し合うこと。この3点を大学全体の協力を得て、地道に追求することです。それが最良の就職支援だと確信しています。事実、成果も上げています。あえて他私学と異なる点を挙げるとすれば、学生が卒業後は職業人として生きることを想定して、入試段階から、受験科目は3科目以下にはしない(学生が将来遭遇するであろう時代の変化に対応できる知の基盤づくりに必要な最低限の科目数)、マークシートを用いず、記述式を貫いている(書く行為は人生を貫いて必要)。あるいは、豊かな人生の土台を作るためには、大学時代にしかやれないことをしっかりやるのが重要です。そのために、就職指導は3年次の10月半ばまでは行わない、などです。本学の就職支援のモットーは、「学生にとって満足度の高い就職であること」および「企業等にとって満足度の高い採用であること」を両立させることです。そのため、キャリアセンターでは、学生を集団としてではなく、多様な異なった人格と認識して、できるだけ一人一人の学生と向かい合って、とことん話し合うことを旨としています。窓口も予約制をとらず、いつでも学生と対話できるように心がけています。もちろん、企業がどのような人材を欲しているかを常に念頭に入れて就職指導を行っています。それらを、本学学生を考慮して綿密に作成された年度計画「アクションプラン」に沿って実施しています。その結果、学生の就職満足度(2004年度卒業生アンケート)は、文系男子が「大いに満足 57.8%」「満足 34.9%」、合わせて 92.7%の学生が就職に「満足」、文系女子が「大いに満足 64.7%」「満足 32.9%」、合わせて 97.6%の学生が就職に「満足」、工学部生は「大いに満足 72.3%」「満足 24.1%」、合わせて 96.4%の学生が就職に「満足」。
同志社女子大学	就職に限定せず、低年次から、進学・資格取得等キャリア全般に関する支援を行っている。就職においては100%の就職決定率と100%の就職満足度を目標とし、特に個別紹介や個別相談に力を入れている。
京都ノートルダム女子大学	小規模校である本学の特長を生かし、内定者、卒業生のいる企業については訪問するよう心がけている。また求人依頼があった場合学生に電話をかけ紹介、相談を受ける。就職し活躍している卒業生に講演を依頼し実施している。

参考資料(3)

校名	就職支援・キャリア形成支援に関する特色ある取り組み、強化・充実している取り組み、工夫点等
花園大学	<p>2005年度の就職課は・・・Career Up! をがっちりサポート～Let's start together!!</p> <p>“自分を見つめる”ことから一緒にスタートし、“働くとはなにか”“仕事とは何か”を学ぶ就職ガイダンス等を分野・志望別に開催するとともに、特に個人面談に力を入れ、学生の希望や適性を考慮しながら、個々の資質を引き出す指導やアドバイスをを行っています。</p> <p>就職ガイダンス各種・企業研究会</p> <p>座学形式ではなく、ワークショップ形式を取り入れ、ライブ感たっぷりのガイダンスを毎月のように実施しています。講師陣は就職課スタッフに加え、外部の就職コンサルタントや企業の人事担当者などが担当しています。</p> <p>就職適性検査・就職模擬テスト</p> <p>職業適性検査R-CAP、R-CAPストレングス、SPI対策テスト、論文対策テストなどを実施し、各テストの結果を個別面談の資料として活用し、自己分析の作業や職業興味・方向性の把握、志望進路への選択に役立たせるとともに、ひとりひとりの進路を一緒に考えています。</p> <p>特にR-CAP、R-CAPストレングスについては、その診断結果をもとに、就職課スタッフが講師となり、「自己分析」「やりたいこと発見」「自己PR」「エントリーシート作成」「面接対策」「強み発見」など全部で26講義(180分/1講義)を開催し、さらに個別のカウンセリングにも役立てている。</p> <p>各種講座・講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ■公務員受験対策講座 ■教員採用試験対策講座 ■筆記試験対策講座 ■社会福祉士受験対策講座・・・京都社会福祉士会と連携 ■赤十字救急法救急員養成講習会 <p>学内合同企業説明会</p> <p>学内で、学生と企業の採用担当者・リクルーターとの直接的な面接の場を提供しています。</p> <p>就職相談・カウンセリング</p> <p>就職課における個人面談は、就職指導を進めるうえで最も重要です。就職課は、企業や施設に提出する履歴書・エントリーシート・論文などの添削指導や模擬面接はもちろん、内定後のフォローも強化しています。また内定をとった4回生がキャリアサポーターになり、3回生のフォロー活動をしています。</p> <p>インターンシップ</p> <p>職業教育の一環として、学生が就職する前に就業体験の機会を与えるインターンシップ制を大学コンソーシアム京都と連携し正課学習に採用するとともに、ハイパーキャンパスシステムの活用や花園大学独自のインターンシップにも着手し、学生が社会に向かって胸を張ってスタートを切れるような就業体験を提供しています。</p>
佛教大学	<p>本学の就職先傾向からして、地場産業、中堅企業中心であるため、特にインターンシップにおいてこれらの企業を研修の場とし、現実と対峙していく。</p> <p>また、地域との連携も重視し、商店街や行政との連携において、現実の場での様々な問題に取り組むことで就業観、勤労観を高めていく。</p>
立命館大学	①スチューデントネットワーク ②アウトプットを大切にした取り組み
龍谷大学	<p>龍谷大学独自のRCDS(龍谷キャリアディベロップメントスタッフ制度)</p> <p>学生参画型の低年次からのキャリア開発支援プログラム。キャリア開発部企画の行事に1、2回生がサポーターとして参画し、キャリア開発部のスタッフとともに行事を運営したり、学生が主体的に行事を企画・運営することで、活動全般に渡り学生同士が協力・援助しながら相互に成長していき、自らのキャリア形成に積極的に関わっていくものである。</p> <p>また、これを参画した学生が、内定後の4回生時にはキャリアアシスタントとして、卒業後社会に出てからも卒業生という立場からキャリアアドバイザーとしてキャリア開発支援事業に関わり学生支援にあたっていく。</p>
大阪工業大学	<p>・本学では、各学科の就職指導教員、卒業研究指導教員、就職部スタッフが一体となって進路指導にあたっています。</p> <p>・各学科ごとの担当者が主となって、個別の面談を中心に、学生一人一人にあったきめ細やかな支援を行っています。</p> <p>・1年次前期には、「自己発見レポート」を通して自分の強みや弱みを再認識させ、これからの取組みについて教授している。また、「基礎ゼミナール」の授業では、学生間、教員と学生間のコミュニケーションを図り、人間的相互理解を深めている。2年次の後期には授業の「テクニカルライティング」を通し、プレゼンテーションや文書作成能力の向上を、3年次後期には、授業の「情報ゼミナール」を通し、卒業研究の事前準備、社会で必要な職業意識の喚起やプレゼンテーション、コミュニケーション能力の向上に努めている。</p>
大阪樟蔭女子大学	<p>エントリーシート試験添削結果を踏まえ、自己PRポイントの確認や業種職種のアドバイスを目的とする個別面談の充実</p> <p>面談スキルなど職員のレベルアップを図るべくキャリアカウンセラーによる就職課職員向け研修の実施</p>
大阪商業大学	<p>就職特訓講座の実施。少人数・有料制で、エントリーシート・履歴書対策、面接対策に重点を置き、文章の書き方、自己PR、志望動機の組み立て、面接でのプレゼンテーション能力の強化を目的に10月～3月末まで開講。</p> <p>企業見学会の実施。少人数制で各企業を訪問し、業界の展望や企業の状況等の講演をしていただき、その後工場や施設を見学させてもらう。</p>
大阪電気通信大学	近年、学生が多様化してきているため、学生への対応も個々人にあつたように対応するように心掛けている。そのため、個人面談を強化しており、キャリアカウンセラーの有資格者を配置しいつでも対応できるようにしている。
大阪薬科大学	<p>就職部委員(教員)と3年次生全員とのマンツーマンでの個人面談を実施し、学生の適性や価値観、進路希望や学生生活にいたるまで幅広い相談に応じている。また、就職課員と学生とのマンツーマンでの個人面談も頻回に実施し、学生との交流を深め、互いの信頼関係を構築した上で、各人の個性や適性にあつた就職指導・支援が行えるよう取り組んでいる。</p>
関西大学	キャリアデザインルーム(進路支援室)を設置し、個別のキャリアカウンセリングに応じている。
英知大学	低学年に対しては、特にキャリアという言葉強調することなく、「自己理解・他者理解」をテーマとして、“気づき”を中心としたグループワークを実施している。
甲南大学	社会に目を向けた世界に通用する学生の創出のために個性を重視したプログラムを充実させる。
神戸女学院大学	<p>ガイダンス・セミナー等の実施計画の際、本学は総合大学のように学部別に複数回の実施ができないため、全学生が参加可能な日程で計画するよう工夫している。授業出席が最優先であるから必修授業時間帯は、避けている。</p>
神戸薬科大学	インターンシップ報告会・懇親会(学生、受入先、職員参加)。ランチオンセミナー(学生・職員参加)

参考資料(3)

校名	就職支援・キャリア形成支援に関する特色ある取り組み、強化・充実している取り組み、工夫点等
武庫川女子大学	キャリアセンターでは、本年度から就職支援だけでなく、就職支援につながるキャリア形成支援に非常に力を入れている。入学直後からキャリア形成に関する各種ガイダンス、企業見学ツアー、キャリアガイドブックの作成、キャリアカウンセリング等実施している。また、就職に対する保護者の理解を深め、協力をいただくために、保護者を対象としたガイダンスや保護者向けの就職支援冊子を作成している。
天理大学	CDA資格を持ったキャリアカウンセラーを外部委託し、週2回配置している。
京都産業大学	学生が、地に足をつけた就職活動を行うため、就職ガイダンスを中心に体系的に支援している。企業選択をキーワードに「業界研究・企業フォーラム」で企業の生の声を聞く、「就活祭」で多数の卒業生と接触し、先輩の生の声を聞く、学生就職アドバイザーから直近の就職活動状況を聞く、進路センタースタッフから企業の採用情報を聞く…などの機会を設けている。
梅花女子大学	次年度以降、主として低学年を対象としたキャリアデザイン教育の実施に向けた検討等作業をすすめる予定です。
大阪体育大学	①3年生全員に個人面談を行い、進路希望を聞き、その実現に向け今後どのような対策が必要か、情報提供とアドバイスを行っている。また、無気力な学生に対しては、意思決定に必要な援助策を施している。 ②公務員希望者(教員・警察・消防)に対し、模擬試験(3回/年)を無料で実施している。
阪南大学	入学時にキャリア形成支援のためのガイダンスを実施して、1年次生が履修するキャリア教育のための授業目標との連携を図っている。また、2年次生全員に対してキャリア形成支援を目的としたキャリアデザインシート(目的設定)の作成を行っている。
甲南女子大学	個人相談については、学生が納得がいくまで話を聞く体制をとっている。
帝塚山大学	低学年からのキャリア形成を今後推進していく予定。(現在は1年生対象の適性検査、インターンシップ事前授業等を行っている)
追手門学院大学	キャリア形成支援プログラムにおいて教学との連携を図っている。
大谷女子大学	模擬面接。履歴書指導。マナー指導。
大手前大学	キャリア相談やキャリアゼミといった個人や少人数を対象とした取組みに力を入れている。
神戸女子大学	◎学生のニーズや個々の活動段階に対応することを目的に、「学生のやりたいことをサポートできる手作り支援」に力を注いでいる。 学生数に対する職員の絶対数が少ないために生じる目と手が行き届かない部分を、カバーすることを目的として構築。 ●就職活動研究サークル「ワークショップ」実施—学生主体で行う就活勉強会として奨励しオブザーバーとして参加・コーチングをしている。平成17年4月より活動を開始。業界別に学生に声をかけ周知してメンバーを応募。グループ名をつけ学生の自主運営の下でワークショップを開催している。今後は順次学生ニーズと必要性を考慮しながら、将来がはっきりしていない学生のために、活動段階に応じて「自己分析」や「グループディスカッション」「履歴書作成」というように、ガイダンスで説明指導している内容を実際に参加・体験できるような演習・ロールプレイング形式で開催する予定。
神戸松蔭女子学院大学	キャリア形式の更なる支援強化のため、2006年4月より現行の「キャリア研究」の授業科目に加え更に1年、2年と受講出来る科目を2科目(各2単位)開講する。
京都学園大学	1年生および3年生のゼミに訪問してキャリア形成のための講義をもつ。 キャリアアップ指導を実施し、教員による進路指導を実施している。
奈良大学	学科担当制による個人面談をほぼ3年次生全員に行っている。
摂南大学	就職支援における「面倒見の良さ」:就職活動中の学生に2週間に一度の割合で連絡を取り、進路相談を行っている。
明治鍼灸大学	ゼミ担当教員、学生・就職チームによる個別面談の実施
大阪国際大学	個人指導(面談)を中心に力を入れている。(学生の就職意識の多様化を考えて)
流通科学大学	■学生による学生のための就職支援 ①キャリアチューター(4回生)制度 就職の決まった4回生が3回生をバックアップ ②キャリアリーダー(3回生)制度 3回生のリーダーとして率先して就職活動を推進 ③キャリアアドバイザー(卒業生)制度 卒業生によるバックアップ制度 ■携帯メールによる就職情報の配信強化 ■就職対策宿泊セミナーの実施 ■夏期集中セミナー(自己分析、筆記試験対策)の実施
成安造形大学	平成18年度にむけて各学年のプログラム整理と学年ごとの達成目標を明確化し、学生に提供できるよう現在取り組んでいます。
関西福祉科学大学	OB、OGを招いての交流会
関西福祉大学	卒業生の就職活動体験・現在の仕事についての講演を充実させることで、在学生の就業意識が高まっている。特に、就職活動で「もっとこうすれば良かった」という反省点や、学生生活での反省・失敗談は、在学生にも実感しやすい、どのように学生生活を過ごすべきかというキャリア形成に役立っていると思われる。 また、今後の支援として、少人数制・体験型のマナー講座や模擬面接に力を入れて学生に前向きに物事を考えられる自信と、スキルだけではなく自己分析につながる支援を展開していきたいと考えている。
平安女学院大学	学生一人ひとりの希望、能力に合った進路選択ができるように、CDAの有資格者を3人配置している。
京都創成大学	4回生の日本人学生を対象に、学生本人・保護者に同時に面談を行う機会として家庭訪問を行っている。
京都嵯峨芸術大学	1. OB・OGによる各種仕事シリーズ講演会の実施について 主に企画制作・デザイン関係等の専門の仕事に携わっている卒業生を招き、講演会を年9回開催。

参考資料(3)

校名	就職支援・キャリア形成支援に関する特色ある取り組み、強化・充実している取り組み、工夫点等
大阪人間科学大学	3年生全員と個別に面談を行うなどマンツーマンの対応に力をいれている。
長浜バイオ大学	少人数の大学なので、全体としてのガイダンス等も実施していくが、実際は個別面談・掌握、マンツーマン指導となる。
エリザベト音楽大学	音楽関係の就職先のみならず、一般企業への就職も、積極的に紹介したいので、具体案を検討中である。
広島工業大学	今年度、キャリア教育プログラム企画委員会を設置、全学をあげた体制の強化と擁立をめざしている。
広島女学院大学	全学生を対象とした、卒業生による職種・業界研究会を実施している。また、新聞の読み方講座も全学生を対象として、早期から新聞を読む習慣を促している。1年次生からキャリア形成に向けて、授業やキャリアセンター職員との面談をとおり、学生個人と向き合う体制を強化している。
岡山商科大学	授業科目のキャリア開発論は、YESプログラム認定講座として開講
吉備国際大学	建物の離れている学部について、学生の利便性を考慮しキャリアサポートセンター分室を設置している。また、今後キャリアカウンセリング資格の取得をスタッフ全員が目指す。
川崎医療福祉大学	本学は、医療系大学であるため、業務独占資格の技術を要する学科も多い。したがって、現在「キャリア形成支援」としては、取り組んでいない。しかしながら、来年から年間行事を再考し、学科別ごとのガイダンス実施。就職力向上セミナー。キャリアデザイン講座(3年生対象)。キャリア講演会。ホスピタリティ講座。その他、就職活動支援行事を計画している。
山陽学園大学	卒業後の自分を素敵に輝かせる為に、仕事を持つことによりもたらされる人生の意味合い(収入・自己実現・社会への貢献など仕事を持つ価値)を知らせ、就職活動に向かう手法やマナー・社会人としての自覚を促し、自律と生きる力を学ばせることに主眼を置き、より多くの参加を促す為に就職ガイダンスから社会人入門・一般教養基礎・インターンシップをカリキュラム化・単位化することで、全学的な意識向上を目指している。
山口東京理科大学	「ディスカッション」「ロールプレイング」等のワークを導入して、講座が双方向のやり取りで進行するに努めている。
萩国際大学	個人指導を徹底して行っている。
日本赤十字広島看護大学	系列病院による病院説明会開催。卒業生による就職活動についてのパネルディスカッション開催。
宇部フロンティア大学	年間1～2回「学内企業合同説明会」を開催し、早い時期からの就職活動への支援を実施している。また、「マナー講座」を学年別に行い、人としての基本的マナーを身につけ、就職活動に備える。
松山大学	全体へのガイダンスの他、一人ひとりとの対応を大切にしており、日頃の窓口対応以外にも定期的に20～30分程度の面接期間を設けるなど工夫している。また、大阪間の無料シャトルバスや大阪での無料宿泊所を提供し、就職活動における学生の経済的負担が軽減されるよう工夫している。
四国大学	「就活トライツアー」の実施・・・学生をバスで就職希望地(京阪神)へ引率し、企業訪問させるなどの就職活動を支援している。(年2回程度)
徳島文理大学	1. 公務員・教員・企業就職体験発表会の実施 2. 未内定者を対象とした「就職相談会」の実施
松山東雲女子大学	本カリキュラム外のキャリア形成支援プログラムを固定(木1)の時間帯で実施している
九州産業大学	「ジュニアアドバイザー・キャリアアドバイザー制度」・・・就職が内定した4年次生が、「ジュニアアドバイザー」として就職活動中の3年次生の相談相手となり、指導・助言を行っている。また、ジュニアアドバイザーは、卒業後も「キャリアアドバイザー」として就職部主催行事に参加し、同じく後輩学生に指導・助言を行っている。「就職活動スキルアップセミナー」・・・3年次を対象に参加希望者を募り、学外施設で合宿形式による就職指導を行っている。研修内容は、企業のトップや人事担当者等を招き、職業観や求められる人材像などについてご講演いただき、企業研究、エントリーシートの作成、面接指導等をマン・ツー・マンで行っている。このセミナーにはジュニアアドバイザーやキャリアアドバイザーも参加する。
九州女子大学	女子大学特有の講座の導入。マス教育から個人指導
西南学院大学	キャリア形成支援として1年生、3年生全員を対象にEQコンピテンシー診断テストを実施している。診断結果を基に個別相談を行い、学生に強み、弱み、目的を明確にさせ、キャリア形成へつなげる支援を行っている。就職相談や模擬面接会などの就職行事に、先輩の生きた情報を提供する目的で就職が決定した4年生に協力を依頼している。
福岡大学	来年から、従来の低学年次(1.2年)向けの「キャリア形成支援」のためのガイダンスを充実、強化することになっている。最近の学生には、将来の職業や具体的な学習内容について明確な自覚を持たない者や、目的意識の希薄化、マナー・常識の欠如などが目立っており、大学は直視しなければならない課題である。このような学生のレベルアップを図り、就職へと繋がる支援を目的に、1年次では、知的好奇心の育成・目的意識作り、勤労観・職業観の醸成など、2年次では、3年次から始まる就職活動の事前準備として、インターンシップを中心に実社会との関連性を取り込み、社会人として役立つスキルを育成することになっている。このことにより、低学年次から、将来の目標を意識し、正課教育への取り組み意識が高まることを期待する。
福岡工業大学	・3. 4年次に2回まで、関東、中京、関西地区の企業を受験する学生に対し、交通費の支援をしている。 ・就職合宿(講演、ビジネスマナー講習など)
別府大学	学内企業等説明会の開催(30数社の参加)、進路懇談会の実施(3年次生の保護者)。
長崎総合科学大学	毎年本学主催による合同企業面談会を実施
第一経済大学	SDゼミ(セルフ・ディベロップメント)対象 1年生全員 4単位(通年)1クラス25名以下
西九州大学	本学は主に管理栄養士・介護福祉士・社会福祉士の養成校として、毎年卒業と同時に資格取得及び受験資格を得ることができる。そのために各資格についての国家試験対策講座を設け、学生のサポートを行っている。

参考資料(3)

校名	就職支援・キャリア形成支援に関する特色ある取り組み、強化・充実している取り組み、工夫点等
第一工業大学	①各学科に就職担当の教員(授業と兼務)を置き、就職課と連携し、きめの細かい指導ができる体制を確立している。 ②キャリア形成支援の一環として、資格取得支援センターを立ち上げ、早い段階から各種の資格取得の推進を図っている。
沖縄国際大学	学生の就職意識を高めるための講演や就職ガイダンス、また、外部キャリアカウンセラーを起用しての就職相談など、学生にとって有意義と思われるプログラムを提供しているが、単位とは関係ない任意の参加になっているためか、参加者が少ないのが現状である。今後はカリキュラムの中に組み込み、講義科目として実施していく必要があると思われる。
志學館大学	①キャリア形成科目群を開設し、各学年にそれぞれ授業科目を開設している。 一年次 キャリア開発論 二年次 キャリア概論Ⅰ 三年次 キャリア概論Ⅱ インターンシップ ②担当者による個別面談の実施 全学生の個別面談を実施して、その希望進路先等を含め学年を把握した上で、適材を適所に配する方針で指導している。
活水女子大学	情報提供:学生個々の適性・希望にあった就職先の選択のために、スタッフによる企業訪問・企業研究などで収集した情報を提供している。自己発見:自分自身について考え、自己を知ることにより、将来像が見えてくる。学生一人一人との個人面談を行い、自分さがしのお手伝いをしている。 就職試験対策:筆記試験や面接試験における傾向を探り、時事問題などチェックポイントのフィードバックを行っている。
鹿児島純心女子大学	資格試験、検定試験等の対策講座の補助を後援会からいただいている。
名城大学	特色ある就職支援の取り組みとして、平成11年度から継続して行っている県外就職促進事業「就職の翼」事業がある。県外就職希望する学生を募り(100名定員)2・3・5月の計3回に分けて東京地区を中心とした就職活動合宿を行っている。日程は4泊5日で、かかる経費の一部を大学が負担して、教職員が引率を行って4年次での就職内定及び学内波及効果で大きな成果を挙げている。
九州情報大学	進路(就職)指導については入学早々の1年次から段階を踏んで指導している。「就職指導」については3年次から(就職)希望者の自由参加で実施しているが、卒業後の進路(生涯設計=どう生きていくか)について事前に考える十分な時間を作らなければ職業・業種の選択が難しいと考える。カリキュラムの中で正規授業として 1年次:「コミュニケーションと自己開発」/前期・後期(必修) 2年次:「社会と自己未来」/前期・後期(必修) を開講し時間をかけて指導している。 この取り組みを始めてから2年目であるが徐々に「就業意識」が広まってきている。 今後は大学・学生・保護者の三位一体で連携して指導することでより改善できる可能性があると考えている。
福岡国際大学	業者開設の就職ナビ利用による一括メール配信の利用等
九州保健福祉大学	創設者を同じくする関連学園と連携をはかり、大学の特色を人事担当者の方々に周知し、学生の就職活動をより円滑に支援するため、パーティー形式にて福岡・広島・大阪・岡山にて就職懇談会を実施。また、本学単独では採用の予定のある九州圏内の主に病院・施設を中心とし企業も含めて人事担当者にお集まり頂き、直接学生と面談する就職面談会を延岡と福岡にて実施。延岡については、地元の大学おうえん協議会と共催しています。学校法人高梁学園の各設置校にて収集した求人情報を一元化した学校法人高梁学園就職情報サイトを開設し学生には閲覧可能(無料)。また、SPIや一般常識の問題をインターネット上にてリアルタイムに利用できるE-Testingを開設し基本料金は学校が負担し、学生は希望者のみ年額2500円にて利用可能。学生だけの就職支援だけでなく、保護者の方々にも就職について相談の場として、教育後援会を大学の組織以外に設けています。
立命館アジア太平洋大学	学生構成の半数が留学生なため、各種ガイダンスや窓口相談などは全て日本語と英語の二言語で実施。大学の事務職員全員が在留資格変更の取次資格を保有。 在留資格変更のためのガイダンスを実施。
長崎外国語大学	個別対応を心掛けており、相談・書類へのアドバイス・模擬面接などは随時実施している。 また、アドバイザー制度を活用し、教員との相互協力により、面談結果の情報交換や各種支援講座への参加促進、求人情報の周知などを行っている。
会津大学短期大学部	先輩の話を聞く会
岩手県立大学宮古短期大学部	・就職相談員を設置し、学生の相談ほか求人企業の開拓にあたっている。 ・就職活動に関する相談は、就職・編入委員の教職員のほか、ゼミ担当教員、またオフィスアワー等の機会を通じ全常勤教員が相談を受ける体制となっており、面接練習や履歴書等の添削など多くの教職員が関わっている。
鹿児島県立短期大学	毎日朝8時半から9時まで、お辞儀や挨拶などのマナー指導を実施しているほか、面接練習や履歴書添削を予約制で実施している。
帯広大谷短期大学	就職ガイダンスの展開は職業観の育成を軸にしている。1年次から先輩たちと接する機会を設け、社会人1年目、社会人5年目、職業適性検査、一般常識模擬試験、人事採用担当者セミナー、模擬面接会、企業説明会、を実施。その間に、就職課による履歴書の書き方、応募の仕方、試験の内容などガイダンスを入れている。
北星学園大学短期大学部	1. 特色ある取り組みとして、企業等へ1日程度訪問し業務説明と職場見学を行う「企業等訪問研修」を実施。2000年度からつづけており参加者数は実人数で334名(延べ835名)に達し、実人数で対象者の約3割に達している。1日であっても学生の意識変化があり、影響が大きいものと思われる。 2. 就職支援の取り組みとして、従来から学生の「個別相談を重視」して強化支援している。学生と互いに顔の見える信頼関係を構築する中で、学生個々人のキャリア形成を築き上げていく。 3. 少人数就活塾の開講。キャリアカウンセラーによる少人数の講座を開講し、話し方、書き方の総体的なキャリアデザインプログラムと個別指導のつなぎ的な位置付け。学生の要望にあわせてテーマ設定し、今後多くの講座を開講予定。
浅井学園大学短期大学部	専門的なもの(ビジネスマナー、SPI対策等)や学内説明会以外の就職活動支援ガイダンスは基本的に自前で行い、カウンセリングに来た学生に関連性を持たせている。

参考資料(3)

校名	就職支援・キャリア形成支援に関する特色ある取り組み、強化・充実している取り組み、工夫点等
酪農学園大学短期大学部	担当職員配置を個別ブース化して相談内容が他人に聞こえないようにしている
東北女子短期大学	・OGの体験談 ・父母懇談会を開き、個人面談に応じている
聖園学園短期大学	面接・マナー指導を随時行なっている。個々の進路・就職相談に、力を注いでいる。履歴書・礼状の書き方等も指導している。
宮城誠真短期大学	本学で独自に各幼稚園・保育園・施設等に求人依頼書を送付又は訪問をし、学生の就職活動を支援している
関東短期大学	面接試験対策として、マナー講座を開講している。
小田原女子短期大学	可能な限り学生個人と面談を行い、進路決定を図りたく実施している。
鎌倉女子大学短期大学部	個別対応を中心としたきめ細やかな就職支援を特徴としています。
相模女子大学短期大学部	実体験こそが成果の得るものだと考え、学生を外に出して経験させている。
山梨学院短期大学	就職・キャリアセンターでは、1年次の4月に実施する進路ガイダンスをスタートとして、1年次の後期以降、様々なキャリア支援のためのプログラムを企画し、実施している。例えば、ラベルワークなどを通して、自分の特性を改めて発見することのできる「自分”彩”発見セミナー」、採用担当者による模擬面接やグループディスカッションなど、通常では体験できないプログラム満載の「就職合宿セミナー」、SPI試験や一般常識試験の筆記試験対策として学ぶ「就職試験対策講座」などを実施している。
聖徳大学短期大学部	・小学校、公立幼稚園教員採用試験合格の為の特別講座 キャリア支援室主催の講座内容：一般教養試験対策 学科教員主催の講座内容：専門科目試験対策 ・公務員採用試験合格の為の特別講座 キャリア支援室主催の講座内容：一般教養試験対策 学科教員主催の講座内容：専門科目試験対策 ・企業就職希望学生向けの就職支援総合対策講座 10月～2月の間、毎週2回開講。対象学生の過半数が受講している。
常磐短期大学	学生の就職活動への喚起を起こさせるようなプログラム、開催時期等を意識している。特にプログラム参加者に対してアンケート等を実施し、次のプログラム内容・時間等に活かせるようにしている。また、参加者を把握し、どのプログラムにどの学生が出ているかなどの分析を行っている。その結果をゼミナール担当教員へ渡し、参加を呼びかけたり就職指導の材料としてもらう場合もある。
高崎健康福祉大学短期大学部	学生個人個人の資質に応じ、個人面談を中心に個別指導の徹底
茨城女子短期大学	・個人面談による就職指導の重点化 ・進路ゼミや進路委員会メンバーからの就職指導やその支援の重視
長野経済短期大学	「就職ガイダンス」：授業科目外で1年次の春休み中に(全8回程度)を実施。 「就職出陣式」：1年次の2月中旬頃、全員で就職活動のスタートの意味でセミナーを実施。 「インターンシップ」：企業での実習の成果を持続させるため、週1回位のペースでフォローアップセミナーを実施。
松本短期大学	公務員模擬試験を利用した就職模擬試験を1学年3回、2学年3回づつ実施している。
上智短期大学	二年次のゼミ担当教員と就職支援担当教員が連携し、学生個々の就活状況の把握・指導を行っている。
育英短期大学	現代コミュニケーション学科に関しては早期退職・ミスマッチを防ぐ意味から、1年前期より授業科目：「キャリアプランニングⅠ」を開講し、進路選択について時間をかけて指導している。1年間をかけて就職に関するあらゆる情報を提供し、2年直前には合宿形式の『就職セミナー』を開催し年間を通じた授業の集大成として位置づけている。
清泉女学院短期大学	担任と担当部署が連携を図って常時、状態を把握している。
城西短期大学	学生個人別担当制を実施し月1回の連絡をしている。
共栄学園短期大学	3年生を対象に就職準備講座を14時間(2日間)実施
浦和大学短期大学部	学生・就職課とゼミ担当教員との連携を図り就職率の向上に努めている。
川口短期大学	学生全員がゼミに所属しているため、ゼミ指導教員に所属学生の進路状況を逐次報告、把握している。また、ゼミにおいても就職活動、キャリアセンターの利用を呼びかける。
高崎商科大学短期大学部	①保護者向けの相談窓口⇒学内で行われているガイダンス情報や内定状況等を知らせ、保護者からの疑問や不安を解消している ②キャリアインサイト(職業適性診断システム)の導入⇒従来の適性検査と違い個別のカウンセリングが行われるので学生の最も多い悩みである、自分が何に向いているのか?どう就職活動を展開していけばよいのかが解消される。
宇都宮文星短期大学	企業等の外部より講師を招待し就職講座を開催している。

参考資料(3)

校名	就職支援・キャリア形成支援に関する特色ある取り組み、強化・充実している取り組み、工夫点等
埼玉女子短期大学	①コース別による基礎ゼミ:商学科4コース、国際コミュニケーション学科4コース、両学科共通コース3コースにコース別基礎ゼミを設置し、目指す進路の設定や、学習計画、資格取得目標をたてる。また、将来のキャリア形成のための基礎力アップと教養と常識を学ぶために小テストを実施し、自分の能力に自身がもてるよう一人ひとりサポートしている。 ②コース別インターンシップ:今年度は約60社の企業で延べ200人の学生が実施。 ③キャリア形成のための資格取得:コースごとに目標資格の優先順位を考えながら、学習計画を立てている。通常の授業とは別に資格取得講座を設けバックアップしている。④カリキュラムの改革:ユニット制のカリキュラムを導入し目標進路に沿った履修が可能。キャリア形成科目の設置⑤キャリアサポートセンターの設置:就職指導や就職の斡旋に留まらず、入学から卒業まで、あるいは卒業後のキャリア形成及びキャリア支援までを総合的にサポートしている。キャリア形成支援プログラムを総合的に推進する要としてキャリアサポートセンターは存在している。
山村学園短期大学	平成18年度よりYESプログラムをもとにキャリア支援を行う見込み
佐野短期大学	進路指導課ではキャリアガイダンスの他、個人面談、相談、履歴書の書き方等個別に指導している。
湘南国際女子短期大学	本学の正課授業は、4限で終了となるので、週に2回、5限目に1・2年生対象の就職支援のための特別講座として就職対策A(ニュース・新聞を読む)、就職対策B(国語)就職対策C(算数・理科)を開講している
武蔵丘短期大学	今年度も2年生就職内定者の活動報告会を1年生向けに実施し、例年とは違う一問一答のインタビュー形式で行ったが1年生には大変解りやすく成果もあったと思う。教職員側が満足するのではなく学生が満足するよう心がけています。
青山学院女子短期大学	本学は毎年多くの卒業生を社会に送り出しており、OG訪問や「卒業生による就職相談会」(内定した2年生及び専攻科生に依頼し、1教室2～3人の内定者で主として1年生を対象に就職活動の体験談、就職活動の進め方、入社試験の内容などについて報告、質疑応答をもらう。2週間程度に渡って開催される)などにおいて、卒業生との連携を活かすことができていると認識している。
跡見学園女子大学短期大学部	キャリア支援に関する授業「ライフデザイン」「ことばのトレーニング」「プレゼンテーションスキル」を1年次の必修科目に置き、あわせてキャリア支援をサポートする科目を選択科目として複数設定している。
女子栄養大学短期大学部	個人との情報交換を密にしている。卒業生からのアドバイスの仲介をしている。
杉野服飾大学短期大学部	産学連携による授業を実施。
戸板女子短期大学	ランチタイム留学として昼休みを利用してネイティブの先生による英会話教室を開催している。
東京家政大学短期大学部	保護者への情報提供と子が就職するためのバックアップの要請をし、家庭と大学が連携して学生の就業を推進している。
東京女子体育短期大学	「Let's study」・・・教員採用試験対策を中心に、教員がボランティアサービスとして希望学生を毎週指導する
東京文化短期大学	1. 筆記試験対策講座 2. 面接試験対策講座(模擬面接・グループディスカッション) 3. メイクアップセミナー
東横学園女子短期大学	「職業観の形成」に対する取り組みを強化するようになった。
宝仙学園短期大学	保育学科では、助言教員・就職担当教員による個別指導、全教員による受験先の開拓などにより安定した就職率を堅持している。
帝京大学短期大学	新入生ガイダンス時にSPI能力職業適性検査を実施、卒業後の自分を考える動機付けとなりまた、学生生活での目標設定が期待される。
創価女子短期大学	短大学生課キャリア支援担当者とキャリアセンターが協力し、学生支援及び、企業開拓・斡旋を行なっている。
自由学園短期大学	OB・OGのサポートが強力に行われている。
日本歯科大学東京短期大学	学生の興味ある分野で活躍している先輩にお願いして、講演を行っている。
北陸学院短期大学	本学では、従来の就職支援に加えて、2005年度からキャリア形成支援事業(具体的には、資格検定試験の実施、インターンシップの実施、四年制大学への編入学支援)を開始した。今年度はそれぞれが個別的に実施されたが、2006年度以降はインターンシップと就職支援事業といったように、それぞれの事業が有機的に結びついた形で実施され、学生の就職支援・キャリア形成支援を更に有効たらしめたいと考えている。今年度は、インターンシップについては、初年度ということもあり、自発的に参加申込みをしてくる学生のみを対象として手厚い個別指導を行い、相手企業とも綿密な事前・事後の話し合いを行った結果、インターンシップを経験した学生の中から、2007年度採用候補に選ばれたものが出て来た。これはレアケースであったと言うこともできるが、学生・企業双方と時間をかけてお互いの主張を聞き、それによって綿密な準備を行い、慎重にマッチングを図れば、かなりの成果が期待できること、また、そこで得た企業との信頼関係によって就職先確保ということも期待できることが分かった。多くの学生にインターンシップを経験させる場合には、この方法は有効であるとは言いが、2006年度も入念な準備と慎重な実施を旨とするインターンシップの実施に務め、延いては学生の就労意識の涵養を図ると共に、就職に繋がるような、インターンシップ・就職支援連携事業となることを期待している。
一宮女子短期大学	身嗜み指導、面接個別指導、リクルートスーツデーを実施している。
名古屋学芸大学短期大学部	授業として単位化(半期間)し、この中でキャリア支援、就職支援等全ての要素を含めたプログラムを形成。

参考資料(3)

校名	就職支援・キャリア形成支援に関する特色ある取り組み、強化・充実している取り組み、工夫点等
中京女子大学短期大学部	本学では「就職」という一元的な見方ではなく、将来の「進路」全般を見据えた発想で、①学生の自己発見・自己適性等の開発支援、②学生の適性・希望を考慮した将来に対する進路支援、③自分に合った職業に就くための就職活動支援、④社会に送り出しても恥ずかしくない人物育成支援、という進路支援体制4本柱を軸に学生との関わりを持つ事に力を注ぎ、「低学年から将来を見据えた進路支援」を視野に入れた学生サービスを実践しています。また、平成13年度よりキャリアカウンセリング(進路相談窓口)を開設し、定期的(年間22回)に専門の女性カウンセラーが個別に学生の悩みや相談事への対応とキャリアアドバイス等カウンセリングを行い、個別によるコミュニケーションアップに努めています。
名古屋女子大学短期大学部	1年次からのキャリア意識向上のための講座実施および授業化を検討している。また企業人を講師に招き、社会的な内容の講義も新規計画中である。
岡崎女子短期大学	メール等を利用して学生とのコミュニケーションを大切にしている。
名古屋経済大学短期大学部	就職に対する意識づけを低学年から行うために、全学年を対象としたセミナーの実施。 内定者に対するマナー研修(新入社員が受ける新人研修)の実施。 YES-プログラム検定受検の推奨。
中部学院大学短期大学部	「YESプログラム」(若年者就職基礎能力支援事業)の単位化計画。「卒業生人材バンク」登録希望調査実施。なお、外国人留学生及び障害学生など少人数については、個別対応にて支援している。
高山短期大学	・学内において求人企業によるセミナー ・個人面談(複数回)
大谷大学短期大学部	次年度よりキャリア支援の一環として、本学独自のインターンシップを実施予定。
華頂短期大学	個人面談や学生との連絡を密にすることによる、個別対応・指導の充実化。
京都短期大学	就職意識の低い学生に対する支援
京都女子大学短期大学部	進路カードによる面談会により、個々の学生の状況を把握、OGとの懇談会や学生プレースメントサポーターによる相談会により社会で求められている人物像や具体的な活動方法の実体験を聞く機会を設けている。
平安女学院短期大学部	学生一人ひとりの希望、能力になった進路選択ができるように、CDAの有資格者を3人配置している。
大阪キリスト教短期大学	企業実習、大学独自で受け入れ企業を拡大し、実習希望学生全員が参加できるよう努めている。
大阪女子短期大学	○フリーター・ニートをさせない指導、働くことの意義やキャリア形成に関する講座を1年生前期に実施(科別:10コマ) ○基礎学力の向上、1年生後期に一般常識講座(科別:12コマ)
大阪信愛女学院短期大学	学生一人ひとりの就職活動を個別に徹底して支援している
大阪電気通信大学短期大学部	近年、学生が多様化してきているため、学生への対応も個々人にあったように対応するように心掛けている。そのため、個人面談を強化しており、キャリアカウンセラーの有資格者を配置しいつでも対応できるようにしている。
大阪国際大学短期大学部	個人指導(面談)を中心に力を入れている。(学生の就職意識の多様化を考えて)
梅花女子大学短期大学部	次年度以降、主として低学年を対象としたキャリアデザイン教育の実施に向けた検討等作業をすすめる予定です。
神戸松蔭女子学院大学短期大学部	キャリア形式の更なる支援強化のため、2006年4月より現行の「キャリア研究」の授業科目に加え更に1年、2年と受講出来る科目を2科目(各2単位)開講する。
頌栄短期大学	責任制を育てる取り組みに力を入れている。
武庫川女子大学短期大学部	キャリアセンターでは、本年度から就職支援だけでなく、就職支援につながるキャリア形成支援に非常に力を入れている。入学直後からキャリア形成に関する各種ガイダンス、企業見学ツアー、キャリアガイドブックの作成、キャリアカウンセリング等実施している。また、就職に対する保護者の理解を深め、協力をいただくために、保護者を対象としたガイダンスや保護者向けの就職支援冊子を作成している。
和歌山信愛女子短期大学	将来に向けて、カリキュラムの中に積極的に組み入れていきたい。
奈良文化女子短期大学	幼児教育学科・福祉学科・衛生看護学科においては、それぞれの施設での実習が必須である。これは、一般民間企業におけるインターンシップに相当するものであり、学生の職業意識形成のためのプログラムのひとつとなっている。
大阪薫英女子短期大学	一年次から個別に面接を行っている。
奈良芸術短期大学	本学は美術短大であるために、コミュニケーション力の強化はもちろんですが、特にポートフォリオを重視し、就職活動には持たすよう指導しています。また、ポートフォリオ制作に詳しい外部の指導者にもお願いして説明会を実施しています。
滋賀女子短期大学	全学生と面談を行い、必要のある学生には個別指導を行っている。
京都嵯峨芸術大学短期大学部	1. OB・OGによる各種仕事シリーズ講演会の実施について 主に企画制作・デザイン関係等の専門の仕事に携わっている卒業生を招き、講演会を年9回開催。

参考資料(3)

校名	就職支援・キャリア形成支援に関する特色ある取り組み、強化・充実している取り組み、工夫点等
大阪樟蔭女子大学短期大学部	エントリーシート試験添削結果を踏まえ、自己PRポイントの確認や業種職種のアドバイスを目的とする個別面談の充実 面談スキルなど職員のレベルアップを図るべくキャリアカウンセラーによる就職課職員向け研修の実施
京都経済短期大学	個人面談の実施
明治鍼灸大学医療技術短期大学部	ゼミ担当教員、学生・就職チームによる個別面談の実施
中国短期大学	2006年から、一般教養科目2単位、選択として開講する。
山陽女子短期大学	実社会に出て役にたつための経営者による講義を取り入れている。
宇部フロンティア大学短期大学部	個別支援の実施。遠隔地からの入学者には特別支援を実施。
下関短期大学	個別の面接指導の強化
山口芸術短期大学	文書依頼のみならず、委員会その他の教職員による企業訪問
山陽学園短期大学	卒業後の自分を素敵に輝かせる為に、仕事を持つことによりもたらされる人生の意味合い(収入・自己実現・社会への貢献など仕事を持つ価値)を知らせ、就職活動に向かう手法やマナー・社会人としての自覚を促し、自律と生きる力を学ばせることに主眼を置き、より多くの参加を促す為に就職ガイダンスから社会人入門・一般教養基礎・インターンシップをカリキュラム化・単位化することで、全学的な意識向上を目指している。
岩国短期大学	1. 卒業生による「就職体験発表会」を毎年1回開催 (1)企業関係3～4名、幼稚園・保育園・施設関係4～5名の卒業生就職者を招聘し、体験の発表と質疑応答を行っている。 2. 山口県若者就職支援センターのランチ校として就職ガイダンス、スキルアップセミナー、個別就職相談に講師派遣を受けている。
呉大学短期大学部	個人への指導を徹底している。
四国大学短期大学部	「就活トライツアー」の実施・・・学生をバスで就職希望地(京阪神)へ引率し、企業訪問させるなどの就職活動を支援している。(年2回程度)
徳島文理大学短期大学部	1. 公務員・教員・企業就職体験発表会の実施 2. 未内定者を対象とした「就職相談会」の実施
松山東雲短期大学	本カリキュラム外のキャリア形成支援プログラムを固定(木1)の時間帯で実施している
愛媛女子短期大学	就職関係につきましては、かなりの力を入れており個別に相談や面接対応などを行っております。
瀬戸内短期大学	各ゼミナール別の学生個別面談。(全員)
高知学園短期大学	教職員の研修について:年に数回、専門能力の向上を目指し研究発表他エネルギーにに取り組んでいる。
九州女子短期大学	女子大学特有の講座の導入。マス教育から個人指導
中村学園大学短期大学部	・企業人事担当者を招聘しての面接体験セミナーの実施 ・個別面談の実施 ・集団模擬面接の実施
東筑紫短期大学	就職対策特別講座の内容を充実させる。
福岡工業大学短期大学部	・2回まで、関東、中京、関西地区の企業を受験する学生に対し、交通費の支援をしている。 ・就職合宿(講演、ビジネスマナー講習など)
長崎外国語短期大学	個別対応を心掛けており、相談・書類へのアドバイス・模擬面接などは随時実施している。 また、アドバイザー制度を活用し、教員との相互協力により、面談結果の情報交換や各種支援講座への参加促進、求人情報の周知などを行っている。
宮崎女子短期大学	常に声をかけて、学生の就職意識の向上を目指している。
福岡女子短期大学	1年次より、講義に取り込み単位制として、取り込んでいきたい。
第一幼児教育短期大学	就職支援は就職課を中心に教員と一体になって学生の就職開拓(求人情報の収穫)に努めている。その他、年に20数回の就職主体の特別講座を計画実施している。
久留米信愛女学院短期大学	就職特訓講座を実施しており、特色ある内容としては、実際に入社試験(仮企業)を想定し、地場企業の人事担当者による面接を行っている。
九州造形短期大学	1年次生の父母を対象とした就職講座等の開催

参考資料(3)

校名	就職支援・キャリア形成支援に関する特色ある取り組み、強化・充実している取り組み、工夫点等
第一保育短期大学	<p>卒業後の就職については、1年生の早い時期から卒業までの間に就職ガイダンス(9回)及び地域の幼稚園連盟・保育協会の就職説明会並びに地区アドバイザー(教職員を学生出身地域ごとに割当)による指導・助言を行っているが、就職は本人の希望により実習園又はその他の園からの求人に応募し、採用試験を受けて内定(採用)を頂いている。就職がなかなか決まらない学生には就職課及び地区アドバイザーが、地区ごと又は個別に学生を呼び出し、就職が決まらない原因を学生に把握させ、その原因の是正と技術(ピアノ)作文・面接指導等の受験対策を十分に行なわせ、また遠隔地の求人が短大にこない地区の求人情報は、パソコン(インターネットホームページ)を活用して園・企業等の求人情報を収集、学生への就職希望地域の園等の求人開拓により求人への応募へう促し、採用(内定)を勝ち取らせている。</p> <p>就職が決まらない学生の中には、就職意欲の希薄な者、就職活動に身が入らない者、中には幼児教育者として自信を失ったり、働く意欲のない者も居て、個別に指導や激励を行なって就職希望者全員の就職の達成、悩みの解消に努めている。</p>
函館工業高等専門学校	<p>低学年からのキャリア教育指導を検討中であり、講演会の実施のほか、「私は卒業までの期間をこのように送りたい」などを毎年書かせ、進路について認識させることを検討している。</p>
福井工業高等専門学校	<p>本科3学年・4学年において先輩講座・三者面談(担任・保護者・学生)を実施している</p>
高松工業高等専門学校	<p>就職希望学生を対象に、2月と4月に専門家による面接実技指導を実施している</p>
近畿大学工業高等専門学校	<p>資格取得のための講座を土曜日を使って開講しており、学生のみならず地域の方にも開放している。</p>